





(15)

日露戦争当時先生は中佐で従軍しある。この花田先生は報徳会は馬賊の隊長として満洲曠野で御軍公された。馬賊を叩いて敵軍の偵察をするのが主な任務だった。先

進んだ。午前八時開始と予告した  
ら八時になるとかつきり始められ

## 約 於

(15)

• • • •

社會に、吾日本に貢獻することだ  
と信じ、私は実行すべく極力努力  
して居る次第である。

平山正彦

のでしょうか。既に二十三部落の  
税の二〇〇％  
未だでは時期  
を挙げています。村長さんや財務  
んか。

ようです。  
台風の災害  
の年を迎え  
とび生産を  
総てが互に  
労働謝の日  
た。

我が村の  
運動の実績  
をつとけ、  
産業、経済  
／＼各民主  
性が段々確  
立五ヶ年計  
村民の協力  
る姿はまて

さ  
に  
應  
え  
て

## 加で

す。

◎家庭かぜ薬  
生髪をおろし、梅干一個、大根  
を切し、水を出し、二三日の間煮  
よう。醃漬しておけば宜しい。

非

---

五千	二六三四	掛金
四で	三九二四	
濟金額		







農協販賣係

装の改訂が充分でなく不用品が見  
受られる情願で有ります。殊に我  
が鹿児島縣の木炭は他縣に比較し  
て、質は全く悪く全国でも一番悪  
いといふことで有り、現に直陸に於  
いては三〇円安で取引されて居り  
ます。

これで何時迄経つても昔の様な  
木炭でさへあればよいと云つた時  
代の景氣に取替ふ事は絶対に出来  
ません。

この様に原木が値上りすれば木炭  
の値は上つたにしろ、上つたとは  
云えない。これを採算の合う様に

最近田代の木炭も青様の喫炭に對する技術の實力を窺はれ、品質の改良に努力され良心的な儀装に依り、昔の田代族の汚名を挽回しつゝ、まゝりやがて、今少し一人一人が努力され今迄より一俵一〇〇円の手を入れられたら他縣に劣らない炭が出来、隨段も同額で取引され結局一〇〇円の手を加えたまで、一俵二〇〇圓で販賣出来る計算になり田れる様望みます。

代金では、四〇〇万円と云ふ莫大な金が浮いて来る事になります。最近木炭の値上りで原木も三倍、四倍に上り、それに個人夫賃も上り、結局生活者の手取金は腹股の安い時代と變りはない。原木も不足とは云え、原木の払入札で要するに賣らんとすれば安し、買

本村に最適の

過去の養蚕関係実績を以て田代村の実績は常に縣内の先頭にたつて居る。假に今年の成績は如何か、春蚕に於いては晩霜害により幾分蠶量は縣平均を下回つて居るが、初秋蚕は極めて佳績を挙げ、之を以て田代村の蠶を更に強くする。然し此の味は養蚕を實際に行ひ縣下の成績を目の当り見る縣共進会に出席した人でなければ味わぬ。蠶量は安定し然も昨年も安定して居る養蚕の前途は洋々である。今こそ桑を植えるべき時期である。この桑を植へし山の土事で食つて居る本村

るかに上回つて居る。又現在蚕繭は数値にも。即ち二〇瓦入の小箱で輸送されて居り春秋を通じて一〇〇瓦当りの繭の生繭高は各蚕期とも順下を通じて最高の成績である又本年度麻生催各組共進会に本村より十二匁の繭を出品し、其の内一専から四等まで五匁、八匁の入賞成績、縣平均一匁強をはるかに上回る好成绩で誠に斐々最勝田田きそして子孫繁栄のために働くの

上昇して参り、今迄例のない價額で取引される様になりました事は自ら共に喜びに堪えない次第であります。

例年夏は不需期で値段も安いのですが、本年は朝鮮特需の關係で品不足を生じ、勢い買手は殺到

車載と云ふものの企画は絶対に大切なものに違いないと思いますが、して企画又は事業は迫られて、決めるのであります。私達職員各自が与えられた仕事に真剣に取組み、徹頭徹尾、私生活も充分に犠牲を事なす、其の責任を負さなければ

し、階段は増に上昇して参り生  
兩者の手取金二九〇円と云ふ高値  
をもよんで参りましたが、一應特需  
期となり打ち切られ、一方生需時  
の埒不足して居つた内地の工業用  
炭も一挙に出廻り、なんとかもど  
の位置に達する様になりました。  
愈よ向寒に這り木炭の需要期とは  
云ふ工業用炭は先安が案じられる

最近私達の組合が急速に發展した  
事は幸甚慶びます。何故こんな  
にひかえと申しますと、組合は  
組織体のものが強固である事は  
組合員の皆様が組合を御理解され  
るを以て最高度利用される  
事が一番組合を起した原因である  
と云つても敢て過言でないと思ひ

様になり、家庭族に於いては買  
手が殺到しても年末の貸事事情の  
不換の爲木炭は窮乏されても年内  
思ひ出出来ない云々事になりませ  
う結局云々なれば値下りすると云  
うになりますので現在山床に手持  
つた方はこの高い時期を逸せず急いで  
買手に形を致す。

私達御座るでも製炭者皆様の組合  
を想ふその裡からな心にむく事  
なく毎日の業務に邁進致して居り  
ますので安心されて倍旧の御協力  
を賜る様御願ひ致します。

「営はせめど自分一代で改替し子孫のために何とぞ楽しんで豊かにな村を築いておこうではありませんか。一日も早く田代を繫一色にぬりつゝさうな。桑の苗付けは遠く今日ま

しようが、突っ換金作物の導入により毎日の収入を一銭でも増すようにする事が先決である。然も色々々と反收の上る作物は多いがやむを得ず其の土地に合った將來性のある作物でなければならぬ。其の意をさるやになつたり、又來年に延ばさねばならぬ。他人より先に進まなければ一分を逃がねばならぬ。

は現在の德國で計算したら何と二千万円以上である。一日も早く吾の養蚕を出現される事が我々の経済力を豊かにする事である。書は良く云う。養蚕は良い、養蚕はやられぬとぬめと云う。然し一向に桑は植えず。こんな人は必ず自分の経済は苦しむ。然しこれは良い苦しい」と云い乍ら月日は経つ云ふような老翁の人で常に他人を誹る。田圃には行つた歸途のできない二人は、託居所からの歸り道らしく二人ぼやが、空の辨當をきびて手はないで歸つてゆく。

社会の子供

田圃には行つた歸途のできない二人は、託居所からの歸り道らしく二人ぼやが、空の辨當をきびて手はないで歸つてゆく。

# 社会の子供

田植奉仕に行つた帰途のとき、とである。託児所からの帰り道らしく二人のぼうやが、空の辨当をさびて手をつないで帰つてゆく。

私には四才の子供をなくして以來、特にこのような場合に接すると感傷的になつてしまふ。あれやこれやと子供を氣持を探索してみたくなる。

新開れと今は

（つづかうその子は）

ふたつ方におそつて親の指導で

言ひぬく『かんと』と  
昔の去りゆく  
いたいけな足どり  
いづこ世をへだつ  
吾子の魂俣を求め  
当時の悲しい思ひは賸貯私を  
苦しめる。遊びたわむれている兒  
も知らぬ子供達の姿も、私に様々  
な感情を起させる。子供の泣き声  
を聞くと無上に腹が立つてしう

がない。どこの子供であつても  
 なんとなくであつてもおかまい  
 なしにそんなのであらう。

二人の子供の姿を夢見るような  
 気持でながめていた私の目の前に  
 別な一人の子供が不意にあらわれ  
 いたづらはじめた。突然の恐

れは自分て出来る最大限の知識を絞  
 つて少子達を感じて見る。其の目  
 の色は全く糖一杯で輝いてゐるし  
 かし全く効果がない。さて終りに  
 は足を踏ん張り手を振り上げ身振  
 りで応戦する。しかしこれをも全く

都である。兄も半分泣き顔であるからか、側の子供は得意満面其の表情にくらしてしようがない。二匹の子羊と一匹の狼と言つたように、

過程が大へん面白いと云う。なんと残酷な考えだろう。

もう一つの例、五〇才くらいのお爺様も、ノーマルと思えないお爺様も、

かり私の夢を消してしまつた夢とてころではない何かしなれば、と思つたとき、家の中から母親らしい人のすばらしいとなり声「そう感じられた」によつていたづらは中絶された。

これは人いない人目のない所から人はよくつてゐる。大

はさなめちうとに男の子供をからかつてゐる。「此の子も大宮

田代時報編集部では、廣く村民皆様の御投稿をお待ちして居ります。

一、田代時報編集部では、廣く村民皆様の御投稿をお待ちして居ります。

の出来事には関心してゐる。人達も三人居合せたし又通つた大人も三人あつた。然しその大人達はどんな気持ちで笑つて見ていたり又無表情で通り過ぎて行つた。いたづら坊主の親に対する気がねか、それとも他人の子に對此の無関心さなのか、私は再三このような場合に接したことがある。然し多くの場合多くの大人達は全く無関心である。

二、内容が面白いでもありません  
三、字数が出来るだけ十五字詰一四〇行以内にして下さい。  
四、締切 毎月二十日以内に公民館にお届け下さい。(二十日すぎても送交がなければ翌月号に登載致します)  
五、原稿が余る場合は編集委員会で厳選して登載願ふ致します。  
六、原稿はお返しいたしません。

田代時報原稿  
募集について

一、田代町群衆本部では、廣く村民皆様の御投稿をお待ちして居ります。

二、内容は何れでもかまいませんが、三、文字は出来るだけ五字詰一四〇行以内にして下さい。

四、締切 毎月二十日以内に公民館にお届け下さい。(二十日寸ぎでも差支がなければ翌月号に登載致します)

五、原稿が余る場合は編集委員会に厳選して登載願を決心して下さい。

六、原稿はお返しいたしません。

## 職業家庭科研究會

中学校では去る十一月十一日  
 教育事務所、鹿野肝尻支部  
 の職業家庭科研究会が次のよ  
 り日程で開催されました。  
 一日 日程で開催されました。  
 二日 実習  
 三日 生徒研究発表  
 四日 全体会  
 五日 会場の挨拶、教祖福田文化部長  
 六日 湯之谷村教育長  
 七日 科経営発表、中名教頭  
 八日 科経営発表、原教頭  
 九日 女子コース、池水教頭  
 十日 感想答  
 十一日 研究討議  
 十二日 指導講話  
 十三日 閉会式  
 十四日 上原教育事務所所長  
 十五日 杉谷教頭  
 十六日 サイロ踏込み、五  
 十七日 乳、三椎茸栽培、四調理、五  
 十八日 六、六珠算、七松板加工、八飼  
 十九日 物の生徒がそれ／＼のグルー  
 二十日 つて熱心な実習をいたしました  
 二十一日 特にサイロ、搾乳、椎茸栽培  
 二十二日 等は珍しい実習だと会員の  
 二十三日 方が驚異の眼をもつて参観さ  
 二十四日 した。生徒の研究発表では  
 二十五日 我が田代村の保健衛生の現状  
 二十六日 にかゝる生活改善  
 二十七日 三年 鈴いち子、日高靖子  
 二十八日 私の家庭実習地（温度と水の  
 二十九日 との関係）二年 金子忠治  
 三十日 我が村の産業五ヶ年計画のう  
 三十一日 の奮闘について 三年 貼川忠  
 三十二日 田代の気温と降水量について  
 三十三日 三年 平川伍子  
 三十四日 田代村の項目でありましたが、どれも  
 三十五日 田代村を対象として科学的に究  
 三十六日 りようとする生徒の真摯な研究  
 三十七日 心で、先生方や村の関係者の  
 三十八日 が熱心に耳を傾けて下さいま  
 三十九日 した。指導者として感謝の言葉  
 四十日 教育課小野田主事、郡  
 四十一日 主事、会員として郡内各  
 四十二日 業家庭科担任教師、村内南  
 四十三日 員、来賓として迫田縣  
 四十四日 村長、助役、教育委員  
 四十五日 P.T.A役員、部落婦人会、父  
 四十六日 約百五十名で、何／＼の  
 四十七日 の職業家庭科に地／＼と  
 四十八日 経営であるとの御意を成  
 四十九日 いたさなさいと全職員共  
 五十日 での苦勞が報いられたた  
 五十一日 いした次第でありま  
 五十二日 この研究会には多額の経  
 五十三日 費のつもりですが、この  
 五十四日 は村御当局、職会、教育  
 五十五日 特別の御好意、御面交  
 五十六日 きました。その技術顧問  
 五十七日 師、東生田良政君、農員、  
 五十八日 あぶかり、又村内各所、  
 五十九日 の物質的、精神的御援助  
 六十日 きました。この機会を  
 六十一日 方に深く感謝の意を奉  
 六十二日 私共は常に生徒の教育  
 六十三日 地域の特長に立脚し、  
 六十四日 日本、全世界に注目を  
 六十五日 導に努力致して居ま  
 六十六日 村の実感と向上進歩  
 六十七日 別に深い関心をもち、  
 六十八日 点をそこに求めて居り  
 六十九日 産業五ヶ年計画は出来  
 七十日 取入れたい教育の材  
 七十一日 に村発展の基礎作り  
 七十二日 いるわけであります。  
 七十三日 研究会を機として生徒  
 七十四日 め村の発展のため精進  
 七十五日 を新たにしている次第  
 七十六日 以上簡単に職業家庭科  
 七十七日 要申し上げると共に  
 七十八日 御礼申し上げます。今後  
 七十九日 の御支援と御鞭撻を賜  
 八十日 お願いいたします。  
 八十一日 田代中学校長 名

貸出文庫によせて

最近で来た。紙面も都合で今  
 までに其の具体例を挙げ得ないが  
 教育や学校教育等の教育面に  
 が実源の形で顯現されつゝあ  
 、「田代の喉に倒れ」と言ふ  
 の汚名を返上して、名実共に  
 わつた、教育村田代が近い將  
 出来るような氣がしてならな  
 意欲に増加して居る。  
 に遠隔の部落では現在の公民  
 館の運営状態ではあきり  
 貸出文庫設置方の熱望があつ  
 で、これに應ずる爲に公民館で  
 回十組の貸出文庫を設備して  
 ある部落文庫に貸出して居  
 既に貸出準備も完了して居  
 頃よく「内の條は暇さよあれ  
 読みを仕事にして、夜等裁縫  
 ようとはしない。困つたもの  
 とか「内の子供は近頃本はか  
 んで居て仕事がおろすかにな  
 困る」等々の小言を耳にすか  
 があるが、こゝはたして小言に  
 に罪があるのか、言はせる方  
 ばならないのである。  
 書は何人にも行ひ易い最も手  
 な最も効果の上る学問の方法  
 り、人間らしい生活を欲し、  
 代と共に向上することを欲す  
 ばは、大いに讀書し學問とな  
 ばならないが、其の爲に家庭  
 小言が出て、家庭の平和が乱  
 様では讀書の價值は失はれる  
 ある。  
 村人の讀書は飽きも、働かず  
 ぶ、二宮鍊流の讀書こそ最  
 好い讀書の方法ではないか、仕  
 人な以上には動らいて、くだ  
 に疲れた体で、學問になる壁  
 讀書する事は非常に苦しいこ  
 あり、努力を要することであ  
 其の努力が出来ない様では、  
 しても読書にこそなれ學問に

なる様な讀書は出来な  
 ならぬ様な讀書は公  
 読まなくてはならぬ  
 民館の貸出文庫を却て  
 々は特に此の点に意を  
 内に小言を生み、不平  
 不和をかもす様な讀書  
 は償ひんで戴きたいもの  
 最後は世の年よのち  
 様、おかあ様方に特に  
 上げた事は、これか  
 びて行かなければなら  
 取つては、學問は作物  
 料と同じように、絶対  
 から、若い者が壯年の  
 仕事をゆるがせにしな  
 書にも相當深い理解を  
 力賜りたいと言ふ事でも  
 公民館

あけび  
 平山  
 あけびの実たけりちぢき  
 葉がそてみればななき  
 泥はねて走れるハスより  
 登殿の手らが登つくり  
 稻小橋をて並ぶと日向  
 少く家鴨が二匹

つはの花  
 平山  
 あし富にいななけり  
 近道をして來るズボン  
 つかかみて湯気がつ井戸  
 台湾を偲び  
 太平洋の空遠く  
 光輝やく 南十字星  
 夢の島 鴨子の島  
 黒潮おそるおそる  
 あゝ、つぎね想出  
 学びの慾に  
 山河に遊びし友人  
 今はいかに  
 バイアの香り  
 月光の下 わびひびき  
 胡弓の音  
 花の前髪 月の眉  
 銀の耳輪の台盤娘  
 若人の夢つぎぬ  
 南の国 希望の國  
 再び行かん  
 閑交開けしし  
 木佐

正彦  
北斗  
はの花  
草じら  
の水を

て

に願ひ申す  
大いに  
ない人園  
要なの  
有が家庭  
限り、  
よせて御  
ある。

主事

ををつくり出し、  
庭館とし

學園  
民館とし

は

大